

I 第49週の発生動向 (2015/11/30~12/6)

1. 手足口病については、むつ保健所管内で**警報**が発令されました。
2. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が発令されました。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の154人から217人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、患者報告数が前週の53人から69人に増加しました。

II 第49週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科																
インフルエンザ															-1	
小児科	RSウイルス感染症	19	2.38	20	2.22	2	0.20	18	3.60	4	0.67	1	0.25	64	1.52	10
	咽頭結膜熱	2	0.25	2	0.22	17	1.70	1	0.20	2	0.33	2	0.50	26	0.62	7
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	2.88	9	1.00	26	2.60	2	0.40	7	1.17	2	0.50	69	1.64	16
	感染性胃腸炎	79	9.88	38	4.22	22	2.20	19	3.80	18	3.00	41	10.25	217	5.17	63
	水痘	11	1.38	6	0.67	3	0.30			11	1.83			31	0.74	11
	手足口病	2	0.25					4	0.80	1	0.17	20	5.00	27	0.64	0
	伝染性紅斑	2	0.25					5	1.00	1	0.17	5	1.25	13	0.31	8
	突発性発しん	2	0.25	5	0.56	8	0.80			3	0.50	2	0.50	20	0.48	-1
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	2	0.25	1	0.11	2	0.20	2	0.40					7	0.17	0
流行性耳下腺炎	24	3.00											24	0.57	-1	
眼科																
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎	1	0.50			2	1.00			2	1.00			5	0.45	1	
基幹																
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎															0	
マイコプラズマ肺炎					3	3.00					6	6.00	9	1.50	5	
無菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	1	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市1人、八戸1人、上十三1人(2015年計:274人)
- ・後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患)：東地方+青森市1人(2015年計:3人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患)：東地方+青森市1人(2015年計:18人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・上気道炎患者(鼻汁、10/25)・・・ヒトライノウイルスA：八戸1人

感染症の窓

感染性胃腸炎 (五類定点把握疾患)

感染性胃腸炎は細菌又はウイルスなどの感染性病原体による発熱、下痢、悪心、嘔吐、腹痛などを引き起こす感染症です。毎年秋から冬にかけて流行します。特にノロウイルスの流行により12月にピークが見られます。

乳幼児に好発し、1歳以下の乳児は症状の進行が早いとされています。

過去1年の全国における定点当たり報告数の推移を見ると、2014年第51週(12月中旬)に11.49人/定点のピークが見られ、その後徐々に減少しましたが、2015年第40週(9月末~10月初め)から再び増加し、第48週時点で6.42人/定点でした。また、青森県も同様に、2014年第51週に9.21人/定点のピークが見られ、その後減少しましたが、2015年第40週から増加し、第48週時点で3.67人/定点でした(図)。今後の発生動向に注意が必要です。

予防対策としては、流行期の手洗いと患者との濃厚な接触を避けることです。また、院内、家庭内、あるいは集団内での二次感染の防止策を考慮することが肝要です。

感染が疑われた場合は、最寄りの保健所やかかりつけの医師にご相談ください。また、保育園、学校や高齢者の施設等で発生したときは、感染経路を調べ、感染の拡大を防ぐことが重要であるため、速やかに最寄りの保健所にご相談ください。

なお、ノロウイルスに関する知識と予防対策等については、厚生労働省HPの「ノロウイルスにするQ&A」(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)をご覧ください。【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP、青森県感染症発生情報第1及び18週報



図：定点当たり報告数の推移 (2014年第44週~2015年第48週)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第39週～2015年第49週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	腸管出血性大腸菌感染症1人					
40	H27.9.28 ~ H27.10.4		腸管出血性大腸菌感染症1人				
41	H27.10.5 ~ H27.10.11			梅毒1人			アメーバ赤痢1人
42	H27.10.12 ~ H27.10.18	侵襲性肺炎球菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
43	H27.10.19 ~ H27.10.25						
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	アメーバ赤痢1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
46	H27.11.9 ~ H27.11.15	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人				
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人					
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			播種性クリプトコックス症1人			
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	後天性免疫不全症候群1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人					

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第39週～2015年第49週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	2		1			1
40	H27.9.28 ~ H27.10.4	3	2	4		1	
41	H27.10.5 ~ H27.10.11	1	1	3		1	
42	H27.10.12 ~ H27.10.18				1	1	
43	H27.10.19 ~ H27.10.25	2					
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	1	3	1	1		1
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	5	2				
46	H27.11.9 ~ H27.11.15		1	1			1
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	2	2	1			
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			3		1	1
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	1		1		1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第47週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コクサジウイルス症	重症熱性血小	チンガニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリノス症	マリア	野兔病	ライム病
累積報告数	21341	6	148	3418	32	29	176	223	15	5	3	3	57	16	233	267	197	2	4	1	39	2	10
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1	1424	26	977	225	1483	443	13	162	382	1260	71	213	26	2006	261	2272	102	107	54	150	32	29

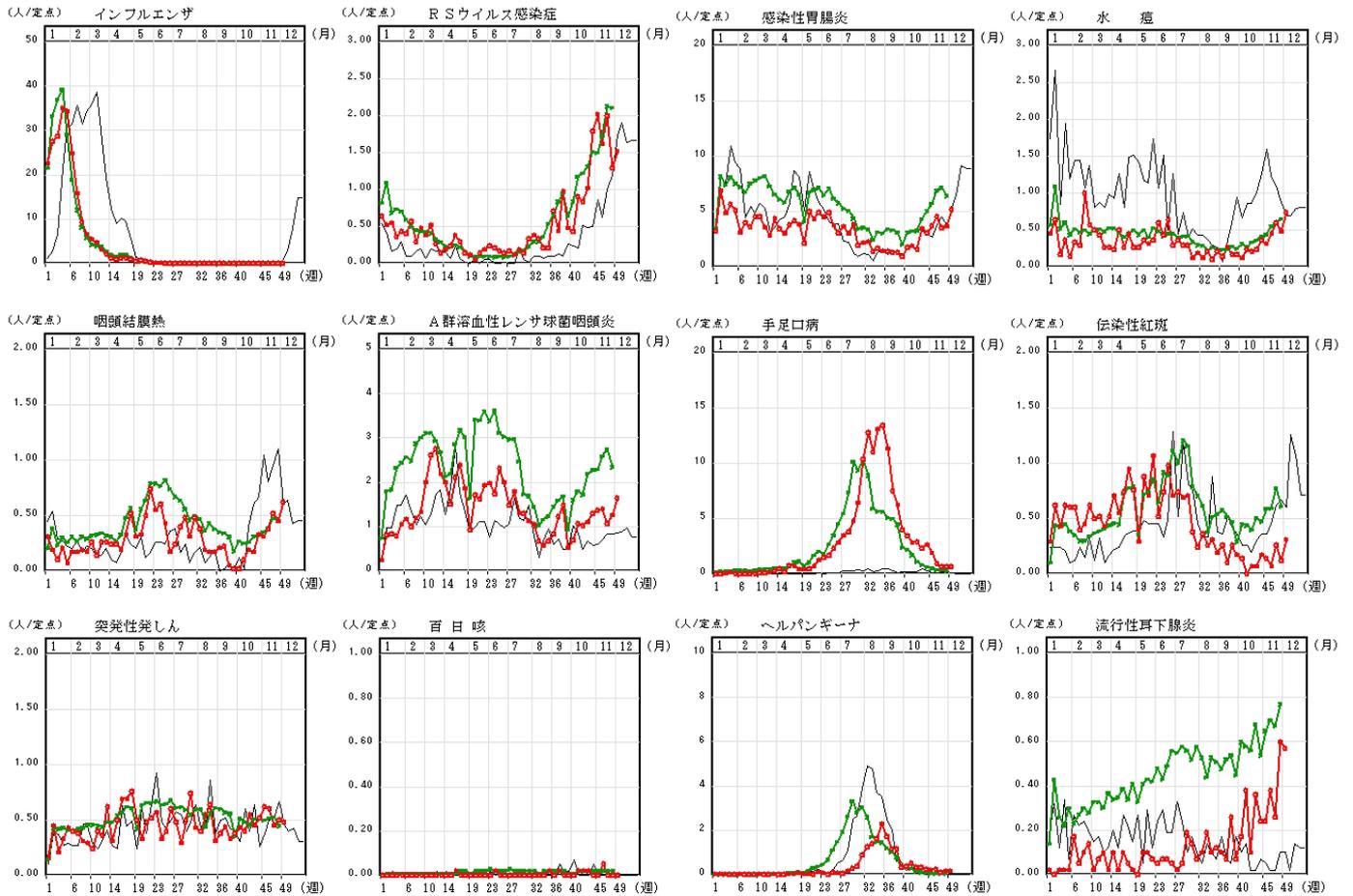
青森県

(2015年第1週～第49週累計)

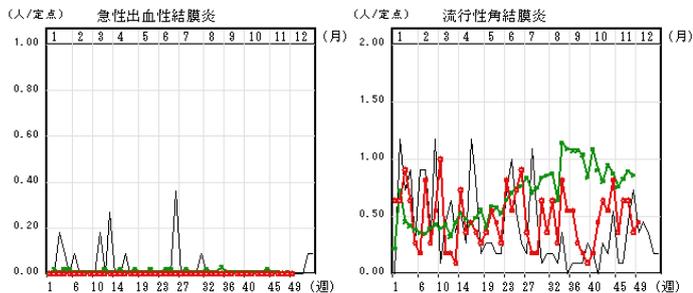
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			
累積報告数	274	47	1	8	2	11	1	16	2	2	3	3	3	3	18	2	6	1	1	1		

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第49週、但し全国は前週)

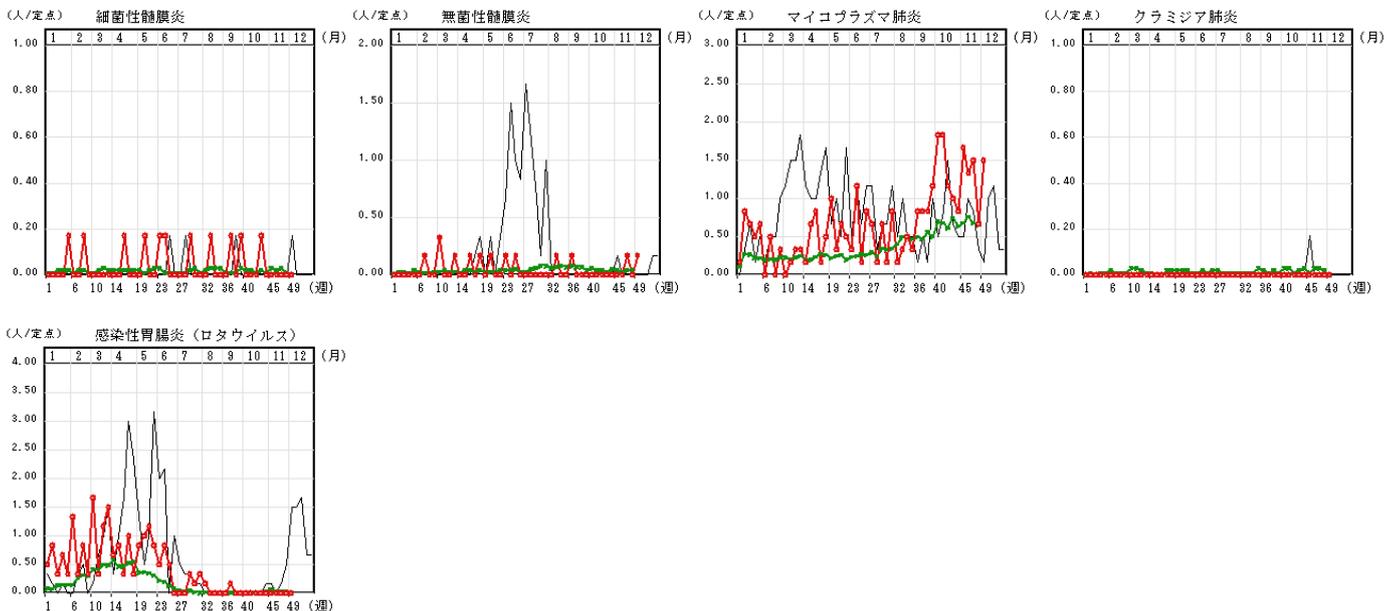
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、 ×—×は2015年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第49週、但し全国は前週)



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第49週、但し全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成27年第49週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第49週	児童・婦人関係施設等	23	青森市保健所

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44-48週	49週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	16
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	10	0	285
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	2	1	1	11
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	30	29	23	209
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	2	2	1	29
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	30	39	23	520